

令和5年度 学校経営計画・学校評価

□4月5日提出 □10月3日提出 ■3月8日提出

学校番号 34 窪川高等学校 課程 全

高知県の基本理念	(1)学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち (2)郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材	取組の方向性	①チーム学校の推進 ②厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実 ③デジタル社会に向けた教育の推進 ④地域との連携・協働
目指すべき姿	① 起業精神を身に付け、社会貢献するための技能「 勤労の愛好 」を育む学校 ② ICT活用能力を地域に生かす能力「 真理の探究 」を育む学校 ③ 協働できる勇気「 品性の涵養 」を育む学校	目指すべき姿を実現するための取組等	a 校内組織の構成 b 信頼に繋げるポジティブ思考 c 課題の分離 d 起業精神を育む取組 e 地域とのサステナブルな活動 f 四万十町と協働した高校魅力化
生徒像	① イベントや事業を企画し、マネジメントできる生徒 ② 郷土のよさに着眼し、ICTなどの技術を生かし情報発信をできる生徒 ③ 他者と技能等を補い、新たなミッションに挑戦する勇気を持つ生徒 ④ 課題を分離し、分業と貢献の姿勢で臨む生徒		

学校関係者評価	
【学力の向上】 評価 【 B 】	受容的・共感的な雰囲気づくりやICT活用等による学力向上に一定の改善を見る。少人数を生かした個別指導の充実による進路実現に期待する。D層をはじめとする成績下位の生徒への地道な支援を今以上に充実されたい。公設塾の意義や学力向上との相関を相互に検証する必要ありと考える。
【社会性の育成】 評価 【 A 】	積極的な取組により目標は十分達成されている。起業精神の育成を目指した取組は生徒が社会や自己の生き方を見つめる機会となっており、活動や発表を通じて生徒個々にコミュニケーションや主体性等での成長を実感する。地域住民の評価・期待も非常に高い。今後もより一層のステップアップを期待する。
【チーム学校】 評価 【 B 】	学校として出来ることに積極的に取り組んだ結果が表れていると考える。入学希望者数については人口減少の影響もあり厳しい状況が続くが、中学校との連携も含めて地道に取り組まれたい。

【重点項目：生徒に対する取組項目】 ★窪川追記 ※略語の定義 「県アンケ」:高知県オリジナルアンケート、「校アンケ」:学校評価アンケート

(評価)A:目標を十分に達成 B:目標を概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

	育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
学力の向上	○基礎的・基本的な知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○主体的に学習に取り組む態度(学習習慣を含む)	①進路マップ「1日あたりの学習時間が1時間以上」67%以上(R4 1年11月49%) ②基礎力診断テストのGTZ「C層以上」が70%以上(R4 1年11月59.5%)	・基礎学力の定着:課題プリント、週明けテスト、補習による個別指導 ・学力の向上:ICTの活用や公設塾と連携し、生徒一人一人の進路目標に応じた学習支援 ・試験2週間前の試験学習開始の定着	①63% (1年55% 2年58% 3年75%) ②40% (1年10% 2年56% 3年54%) (1・3年4月、2年6月) C ・ICT授業・週明け課題・週明けテスト 進路補習(4月～) ・公設塾説明会(4/7) ・キックオフ期間(5・6月)	・当初計画に沿った取組の継続ならびに予習・復習サイクルの見直し ・基礎的事項の丁寧な指導 ・個別指導・支援の継続 ・1時間以上の家庭学習習慣の定着に向けた取組	①61% (1年50% 2年58% 3年75%) (参)2年2時間以上 4→12名 ②46% (1年18% 2年56% 3年54%) (参)1年C層 2→ 3名、B層0→1名 2年C層15→14名、B層2→4名 (1年11月、2年1月、3年4月)	・基礎学力の定着に向けた取組の継続 ・ICTの適切な活用の研究 ・公設塾との効果的な連携について検討
社会性の育成	○コミュニケーション能力(かかわる力) ○キャリアデザイン能力(やりぬく力)	①校アンケ(生徒用)問2「あなたは、卒業後の進路のことを考えて学校生活を送っていますか。」肯定:90%以上(R4: 1年89.2% 2年82.6% 3年92.3%) ②同問3「あなたは本校に入学して、人間的に成長したと思いますか。」肯定:90%以上(R4: 1年83.8% 2年87.0% 3年92.3%)	・地域人材への聞き取りや、総合的な探究の時間等の発表会・様々な地域イベントでの活動の実施 ・遠隔システム等オンラインを活用した進路講演、企業や大学等の進路セミナーの実施	①②年度末実施 ・文化祭株式会社設立・経営(4月～) ・企業・学校訪問(7/14) ・3年スキルアップ講座 ビジネスマナー研修(7/24) 公務員対策講座(7/25-26) ・国際交流プログラム(韓国)参加(8/24-30)	・当初計画に沿って取組を継続 ・学校行事等への主体的な取組を尊重し、自己有用感や達成感の向上につなげる	①94% (1年 96% 2年89% 3年 96%) ②94% (1年100% 2年81% 3年100%) (12月-1月) ・2年修学旅行 関西大学訪問・地元産品販売(10/18) ・関西大学生交流(10/23) ・留学フェア参加(韓国プログラム報告)(10/29) ・津波サミット参加(11/11) ・新文化祭(11/23) ・夢・志発表会2023(1/31) ・地域課題探究発表会参加(2/5) ・1・2年進学説明会(2/15) ・合同企業説明会(3/13)	・地域と協働した探究学習や地域行事への参加、成果発表会等の取組を継続 ・進路講演、企業や大学等の進路セミナー等の取組を継続

【チーム学校:教職員が取り組む項目】

	取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
授業改善	①基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせる ②思考力、判断力、表現力を育成する ③主体的に学習に取り組む態度(学習習慣を含む)を身に付けさせる	①校アンケ(生徒用)問10「教員は、教材の研究や教え方の工夫に努めていると思いますか」肯定:90%以上(R4:1年91.9% 2年91.3% 3年76.9%)	・参観授業を通じた評価と意見交換を随時実施 ・定期的ICT研修を組み込み、組織的な授業改善研修実施	B ①年度末実施 ・公開授業・研究協議 理科(6/22)・英語(7/28)・数学(9/29) ・ICT研修(4/5)、すらすら説明会(4/17) 学習アプリ説明会(9/29) デジタル教材説明会(6/19) ・農業遠隔授業(9/8・22)	・当初計画に沿って取組を継続 ・学習の記録に関する指導 ・指評一体化についての先進校視察(10/27) 研究授業実施(12/14)	A ①96% (1年 96% 2年92% 3年 100%) (12月-1月) ・指評一体化先進校視察(10/27) ・公開授業・研究協議 地公(12/14、兼指評一体化研究授業)・国語(1/22) ・農業遠隔授業(11/10・17)	・組織的な授業改善に向けた参観授業や研究協議等の取組を継続 ・ICTの適切な活用の研究
生徒理解 生徒支援	カウンセリング力および進路指導力の向上を図る 自己の課題と他者、地域、学校の課題を見極める力をつける	①校アンケ(生徒用)問5「あなたは、自分の悩みや困った事について学校に相談できますか」肯定:80%以上(R4:1年78.4% 2年65.2% 3年61.5%)	・縦割り学校行事の実施 ・各学期当初にホーム担任と生徒の面談の実施 ・生徒サポート委員会等による生徒情報の共有と当該情報を生かした個別支援の徹底	B ①年度末実施 ・縦割り清掃(4月～) 親春体育祭(5/2) ・ホーム面談(4・6月) ・生徒サポート委員会(4/26、7/5、9/20) S Cによる生徒支援研修(8/21)	・当初計画に沿って取組を継続	A ①82% (1年 82% 2年81% 3年 83%) (12月-1月) ・生徒サポート委員会(11/8、2/28) ・ホーム面談(10・1月)	・S CやS S Wと連携した生徒支援の取組を継続
学校の振興	本校進学希望者数を高め、教育活動の質を向上させる	①入学希望者40名以上(R4:A・B日程志願者数計24名) ②部活動入部者60%以上、運動部入部者30%以上の維持(R4:部活動63.2%、運動部30.2%)	・地域協働活動の充実:地域部活動、地域課題研究、各部活動を中心に、地域と協働した活動を実施 ・地域イベント参加やOBカフェ等、生徒と地域住民との交流	B ①体験入学参加者83名(窪川75・大正1・須崎4・久礼1・佐賀2) ②部活動入部率69.5%(運動部35.4%) ・地域研・総合学習情報共有会(5/22) ・中学校説明会 佐賀(6/15)・大正(6/21)・須崎(6/26)・窪川(7/18) ・中学校教員対象説明会(6/21) 保護者向け説明会(7/15) 保育所長会(7/12、9/12) ・地域研・金太郎夜市出店(7/21) ・小中学生ドローンレース(8/8) ・体験入学(9/21)	・当初計画に沿って取組を継続 ・ホームページ等での情報発信を継続 ・第2回保護者向け説明会	B ①A日程志願者数28名 ②部活動入部率69.5%(運動部35.4%) ・地域研・CherCher参加(10/22) ・農業コース・米こめフェスタ参加(11/5) ・地域研・クリスマス活動(12/17) ・第2回保護者向け説明会(12/23) ・総合スポーツ(ソフトボール)県体優勝、四国大会3位・全国大会出場 ・水泳 四国大会出場 ・陸上 四国大会出場 ・クリエイティブ部・緑林公園「森のピアノ」彩色 ・しまんと部・四万十町SNS動画26万再生	・地域と協働した活動や地域交流等コンソーシアムの取組を継続 ・地域の中学生の進路動向を見据えた教育課程の検討 ・さらなる魅力化の検討 魅力化コーディネータの配置
働き方改革	校内組織の改編・分掌業務の見直しによる個々の生徒と向き合う時間や指導力向上への時間を確保	<部下による校長の評価> ①問10「教職員の業務負担を軽減し、限られた時間の中で最大の教育効果を発揮できるよう、働き方改革に積極的に取り組んでいる」肯定:80%以上 ②問28「教職員の課題意識や提案を大切に、仕事への意欲を引き出す指導を行っている」肯定:80%以上(R4:①68.8%、②80.3%)	・業務のルーチン化、書式の統一、ペーパーレスを推進 ・18:30以降の業務を届出とする残業ルールの実施 ・データ保管とフォルダ整理のルールを作成	B ①②年度末実施 ・校務処理におけるGoogleClassroom活用(4月～) ・学習支援員、部活動指導員活用(5月～) ・クラウド再構築作業(8月～)	・当初計画に沿って取組を継続	B ①56.3% (9/16) ②75.0% (12/16) ・クラウド再構築作業2月末完了予定	・業務の整理や精選等の取組を継続 ・地域部活動・中高連携部活動の拡大